

文化勲章受章記念

志村ふくみ — 母衣(ぼろ)への回帰 —

現代日本の染織分野に独自の世界を展開する志村ふくみは、1924（大正13）年に滋賀県近江八幡市に生まれ、母・小野豊の影響で織物を始めた。1957（昭和32）年の第4回日本伝統工芸展に初出品で入選し、その後も受賞を重ねた。1990（平成2）年には、紬織の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。草木からの自然染料で染められた糸によって織りあげられた作品は、多くの人を魅了し、国際的にも高く評価されている。「民衆の知恵の結晶である紬の創作を通して、自然との共生という人間にとって根源的な価値観を思索し続ける芸術家」として、2014年に第30回京都賞（思想・芸術部門）を受賞し、2015年には栄えある文化勲章を受章した。

本展は文化勲章受章記念として、代表作を中心に初期の作品から最新作までを一堂に展示することで、60年におよぶ創作の歩みを紹介するとともに、志村ふくみの魅力とその芸術の核心に迫るものである。

とき／2月2日(火)～3月21日(祝) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都国立近代美術館（祝日以外の月曜休館）
 京都市左京岡崎公園内 ☎075-761-4111



「風露」 2000年

時代への眼差し Martine Franck 展

このたび「時代への眼差し マルティヌ・フランク展」を開催いたします。

パリを拠点に活躍したマグナムの写真家マルティヌ・フランクは豊かな国際感覚をもって世界の様々な問題をテーマに取材を続け、高い評価を得ています。また、マグナムの創始者であるアンリ・カルティエ=ブレッソン夫人でもあった彼女は、ブレッソン財団を設立し、写真界に大きく貢献しました。

本展では何必館コレクションより厳選した60点のサイン入りオリジナルプリントを「子供」「ポートレイト」「アイルランド」「ブレッソンと仲間たち」というテーマで構成し展覧いたします。



「アンリ・カルティエ=ブレッソン／国立自然史博物館、パリ」 1976年

生前、カメラを向けられることを極端に嫌ったブレッソンのポートレイトが今回、数多く含まれ、家族でなければ撮れなかったであろう素顔のブレッソンを垣間見ることができます。

これまで日本で紹介されることが少なかったマルティヌ・フランクの全体像を知る貴重な機会です。是非ご高覧ください。



「トリー島、アイルランド」 1995年

記念出版『Martine Franck 写真集』 3,000円

会場	日曜	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	32月
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		文化勲章受章記念 志村ふくみ-母衣への回帰- (月曜休館)																												→3/21			
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		第5回コレクション展 (月曜休館)																												→3/27			
		特集陳列 刀剣を楽しむ-名物刀を中心に- (~2/21)														特集陳列 獅子と狛犬 (~3/13)																	
		特集陳列 皇室ゆかりの名宝 (~2/21)														特集陳列 雛まつりと人形 (2/27~3/21)																	
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	博学社連携のとりくみ・文博界隈の歴史と文化 (~2/21)														京都府コレクション 雛人形名品展 (2/26~4/3)																	
		京都府蔵池大雅美術館コレクション「池大雅」(2/26~4/3)														祇園祭-山伏山の名宝- (~4/10)																	
	3F	(予告) 3/1~27 琳派400年 京都工芸美術作家協会展																															
	4F	琳派400年記念 京都府美術工芸新鋭展 -琳派FOREVER-														実相院門跡展 -幽境の名利-														→4/17			
	5F	画集刊行記念 マンラ(日本版) 藤井龍雄展				アトリエ期 時ころも 布あそび				秋風庵 泥舟作陶展				第10回記念 墨聚展				京都工芸 繊維大学 造形工学課程 卒業制作展 2016				第29回 全国 シルバー 書道展 (京都展)											
	6F	2015年度 京都橘大学 卒業制作展				京都工芸 繊維大学 大学院デザイン科学 専攻 建築設計専攻(別館) 修了制作展2015				イベント				ふろしき つつみの日																			
	別館	琳派400年記念 京都府美術工芸新鋭展 -琳派FOREVER-																															

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	琳派400年記念-琳派降臨- 近世・近代・現代の「琳派コード」を巡って														京都精華大学 芸術学部・ デザイン学部 卒業制作展				京都芸術高等学校 「卒業制作展」													
	別館	第41回 京都教職員美術展				2015年度 京都市立芸術大学 作品展				京都精華大学 大学院展				第40回 新芸術京都展																			
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	共生の芸術展 (美術・工芸総合)				京滋二科会員友展 (洋画・彫刻・写真)				京都教育大学美術科 卒業修了制作展 (美術・工芸総合)				第10回二世紀展 (洋画)																			
	2F	第7回はてなし会 (洋画)				FEB展 (洋画)								第11回彩り・袖ぐ ~それぞれの2016~(染織)																			
	3F									京都教育大学美術科 卒業修了制作展(書)																							
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	(展示入れ替えの ため休館)		企画展 京都日本画の軌跡-京都市立芸術大学所蔵品から- 「学窓の俊英たち」同時開催 堂本印象作品展																														
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	時代への眼差し Martine Franck展 (月曜休館)																																
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	藤井 勘坊展 川尻潤 作陶展	古稀記念 林淡幽 茶陶展				創画会の「今」(日本画) 陶・神山 易久 2016展				辻村 塊 陶展 Artist Group-風-小品展				-路-水と墨によせて 菅原さちよ展(日本画)																		
	ランド ホール	← 京都府私立幼稚園かいが展																															
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	← プライスきものコレクション展																															
	ミュー ジウム	棟方 志功展																															
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323															創立75周年記念・京都中央信用金庫所蔵品展 (月曜休館)																		
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	休館																																
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	第3回続(しょく)「日本画新展」														生誕220年歌川広重の旅 ~保永堂版初摺でみる東海道五十三次~																		
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
会場	日曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
アートギャラリー-北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	中三 美	「Prayer」川田基寛個展								COCO京都精華大学 大学院 日本画展				染色二人展「ソメニスム」 石倉めぐみ小西智子																		
アーツスペース虹 三条通上ルホテル隣 761-9238	2F	沖見かれん個展 (油彩)				吉岡千尋個展(油彩) (15日休廊)				岡田彩希子展 (映像インスタレーション)																							
アーツスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	冬期休廊														冬のお得市(月曜休廊)																		
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122					現代洋画でてくてく展 (田中・富森・安田)				「&展」皆吉経之 正木繁樹・ひよこ				常設展																				
アートギャラリー-博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	常設展(月曜休廊)																																
綾小路ギャラリー-武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787					「桃の節句・ひな祭」 展																												
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372																																	
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展																																
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展																																
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																
延寿堂ギャラリー-ソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552															瀬津純司 陶展(彩墨流) (木曜休廊)				田中雅文展 (木曜休廊)														
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展(日・祝休廊)																																
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画常設展																																
画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																

→3/21

→3/13

→3/18

→3/27

→3/15

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

坂田源平 木彫展

—谷川俊太郎・詩と出会った動物たち—

と き／2月6日(土)～2月20日(土) 10:30AM～6:30PM

と ころ／蔵丘洞画廊 (会期中無休)

京都市中京区御池通寺町東入ル ☎075-255-2232

美術作品を飾ることは個人の嗜好に違いないが若手造形作家坂田源平の創り出す木彫/彩色作品は家族全員があじわえる“癒し”を生み出すのではない。彼の作品は此の数年、東京アートフェアをはじめ各地で発表する度ほぼ完売するという異常な現象を見せている。

私は彼の生み出す動物たちが語りかけてくるような仕草をしているので、一目見ると連れて帰りたくなる《オモシロ可愛さ》の引力が人気の源であると思うが、どうもそればかりではないようだ。

昨年某大手百貨店で開催された「小動物による彫刻展」を東京で見た。数十人に上る美大出身の有望な彼らの作品はどれも小奇麗で上手で、文句無い仕上がり振りで、流石百貨店で並べるべく商品性を備えていると感じた。…と同時に大きな安堵を得た。

彼らの作品に比べ、我が坂田源平の圧倒的な独自観を思うと、彼のぶっちぎりの魅力を再認識させてくれたからである。

私たち日本人は、真面目で社会の肩書きを信用し、個人の目を持ちたがらない民族であるかのようだが、数十年に一度のサイクルで意識変化を受け入れることで現代という日を経験してきた。

坂田源平はものづくりの環境に生まれ、得がたい空気が生み出した人材。今回は谷川俊太郎氏の詩とで“表情”を掘り下げる機会を企画させていただきました。

是非御覧いただきたいと存じます。(蔵丘洞主人敬白)



「トリケラトプス」木彫・彩色
10.5×28.5×17.5cm h



「ジャッカル」木彫・彩色(部分)

企画展「美を創る」京都市立芸術大学コレクションを中心に 後期展：学窓の俊英たち

と き／2月6日(火)～3月21日(祝) 9:30AM～5:00PM

と ころ／京都府立 堂本印象美術館 (祝日以外の月曜休館)

京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

堂本印象美術館では、年に一回のペースで京都における美術教育を見つめ直す展覧会を企画しており、今回は京都市立芸術大学をとりあげている。

京都市立芸術大学は1880(明治13)年に開校した我が国で最も古い芸術系大学。伝統と革新の二面性を有する京都特有の風土のもと、自由な学風を持ち、芸術研究と創造的活動の場として今なお重要な役割を担っている。同大学の130有余年の歴史を紐解くと、京都府画学校として誕生し、京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校など、名称を変えながら、近代京都画壇のみならず京都の伝統産業の発展にも深く関わってきた。戦後は総合芸術大学として、日本画はもとより、洋画、彫刻、工芸の分野においても優れた人材を輩出してきた。今回、京都市立芸術大学芸術資料館の所蔵の名品を通じて、近代日本画の足跡をたどる展覧会を前期と後期、それぞれテーマを変えて開催する。

前期展では教員ゆかりの作品を展示したが、後期展では日本画卒業生に焦点を当て、土田麦僊、村上華岳ら京都画壇を代表する画家のほか、将来を期待されながらも夭逝した画家や、これまであまり注目されてこなかった画家の作品も展覧する。また同時に、京都市立絵画専門学校の卒業生で教員でもあった堂本印象の作品の中から、学生・教員時代に描いた写生や下絵のほか、印象が京都市立芸術大学へ寄贈した古美術(陶俑)を特別に展示し、京都市立芸術大学と印象との関係を振り返る。



岡本神草「口紅」
1918(大正7)年



稲垣仲静「猫」
1917(大正6)年



土田麦僊「髪」
1911(明治44)年

〔今月の展覧会より〕

西村一成 新作展

ISSEI AND THE DEVIL BLUES in KYOTO

と き／2月16日(火)～3月19日(土) 1:00PM～7:00PM
ところ／ギャラリー宮脇(日・月休)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

西村一成(いっせい)は、自身の破片として独白のごとく日々絵画を制作するセルフポート(独学)の突出した画家。人間の生・性・悦・鬱と直に向き合いながら創造の一瞬のチャンスを逃さず、表現の本質をつかみ取る。新作で多く描かれている人物像のフォームは、作者の大きな身振りによって激しくうねりながら画布の上で色彩と筆跡の塊と化し、絵画の深淵から荒い呼吸音をたてているようである。本展は当画廊での1年半振り4回目の個展。2015年制作の新作から選んだ30点を発表。

〔略歴〕1978年生まれ。愛知県在住。池田満寿夫記念芸術賞佳作、青木繁記念大賞展、シェル美術賞展(以上07年)、リキテックスビエンナーレ(08年)、トーキョーワンダーウォール(09年、13年は入賞)、宮本三郎記念デッサン大賞展(11年、13年も)、愛知アーツ・チャンレンジ(12年)、FACE損保ジャパン日本興亜美術賞展(15年)等々、数々のコンクールに入選・受賞。ギャラリー宮脇での個展は「絵画=内面の表皮」(11年)「目の中の目」(12年)「幻たちのブルース」(14年)。本個展「ISSEI AND THE DEVIL BLUES」は各々規模と内容を異にして名古屋(昨年12月終了)、京都(2～3月)、銀座(3月)で相次いで開催。

★同時開催：ジェラルド・サンドレイ個展「Visages 顔」
(2F展示室にて、40点)



「現代の犠牲者」
100×65cm 2015年



「Check for Monsters」
91×106cm 2015年



「歓喜」
100×72cm 2015年

〔新入会画廊紹介〕

ギャラリー K Gallery K

所在地：〒604-0932 京都市中京区寺町二条下ル西側2階
TEL：075-255-7518 FAX：075-255-7518
URL：http://kyotogalleryk.com/
E-mail：stakeda@ja2.so-net.ne.jp 画廊区分：貸／企画画廊
代表者名：武田加代子 貸料金：6万円(1週間)
営業時間：11:00AM～6:00PM 定休日：木曜日／金曜日



ご挨拶

この度京都画廊連合会に入会させていただきました。寺町二条の本当に小さな目立たない画廊です。ただ好きということだけで、美術の世界には全くの素人ですが、それまでの教員を定年退職する前に大病したこともあり、思い切って未知の世界にとびこみました。

「人生は短し、されど芸術は長し」ということばを実感して、2014年5月にオープンいたしました。コンセプトは「誰でも気軽に画廊を訪れてみよう」です。

元気の出るような作品、気持ちの落ち着く作品、何となく惹かれる作品……気に入った絵を部屋に飾ると、途端にそこから豊かな生活が始まり、美しいもの、好きなものに囲まれていると気持ちが洗われ、やる気も沸いてきます。

ご希望があれば貸画廊としてもお使いいただけます。これまでに収集してこれたお宝、つまり「マイコレクション」の発表の場としてご利用いただければと思います。

これからどうぞよろしくご厚意申し上げます。

2月の企画：「はな、ハナ、花展」
期間：2月13日(土)～3月12日(土)
時間：11:00AM～6:00PM
定休日：木曜日、金曜日

本格的な春に相応しい、絢爛たるはな、うつくしいハナ、可憐な花の絵を集めました。花の美しさには何人も太刀打ちできないのではないのでしょうか。「栄華を極めたる時のソロモンでさえ野の百合の一つ程にも着飾ってはいなかった。」とモノの本に書かれています。画家がその時々感動を覚えて絵にした花の数々をお楽しみいただきたいと思います。



藤井勉「幸」3号

〔今月の展覧会より〕

『父・水上勉をあるく』展 文・窪島誠一郎 写真・山本宗輔 (彩流社刊)

と き／2月9日(火)～2月14日(日) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリー・ヒルゲート (最終日: 5:00まで)
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

当画廊の生みの親、水上勉先生の足跡を御子息窪島誠一郎氏がたどり、反戦・反原発の仕事で知られるフォト・ジャーナリスト・山本宗輔氏がその旅に同行し撮影。三人の表現者の存在が重なり合って浮かび上がるような不思議な本が出版されました。

宗輔さんの写真を中心に、文章もともに展示致します。じっくりとご覧いただければ幸いです。

(ギャラリー・ヒルゲート)

窪島 誠一郎 vs 山本 宗輔

対談『水上勉の足跡をたどって』

(夜話市民講座Bコース)

2月12日(金) 6:30PM～8:30PM

場所 ギャラリー1F

定員40名(要予約) 参加費2,000円(学生1,000円) 茶菓付



東中野駅近辺のガード下

第3回続(しょく) 「京都日本画新展」

と き／2月5日(金)～2月15日(月) 10:00AM～8:00PM
ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休)

京都市下京区京都駅ビル (JR京都伊勢丹7F隣接) ☎075-352-1111

創造性に富んだ若手日本画家の発掘、育成を目的に2008(平成20)年に「京都日本画新展」として始まり、2年前に推薦委員と審査委員の役割を分離するなど異なる視点を加え、選考方法と名称を改めて再スタートした続(しょく)『京都日本画新展』も、今年3回目の開催を迎える。

小嶋悠司、竹内浩一、林潤一、村田茂樹各氏が推薦した京滋を中心に20～40歳代の新鋭計38人の作品を審査。尾崎正明・茨城県近代美術館長ら5人の審査委員が、作品の筆遣いや表現を1点ずつ入念に確かめ、大賞(賞金50万円)1点、優秀賞(同20万円)を選んだ。

(1) 大賞: 1点(賞金50万円)

西久松 綾(にしひさまつ・りょう)「みなも一時雨る」26歳、京都府亀岡市

【講評】 写実をとおして日本画の現代性という課題に取り組もうとする意思を感じる。下地に銀箔を使用するなどの隠れた技巧により水面の流動感に加え、水の深さまでも表現している。物の存在を正面から捉えながら季節感をも捉えた秀作。

(2) 優秀賞: 2点(賞金20万円)

尾花 和子(おばな・かずこ)「雨の記憶」33歳、京都市

松平 莉奈(まつだいら・りな)「Missing Horizon(eat)」26歳 大阪市

○推薦委員によるギャラリートーク(いずれも午後2時から)

2月8日(月曜日) 小嶋 悠司氏(日本画家)

2月9日(火曜日) 竹内 浩一氏(日本画家)

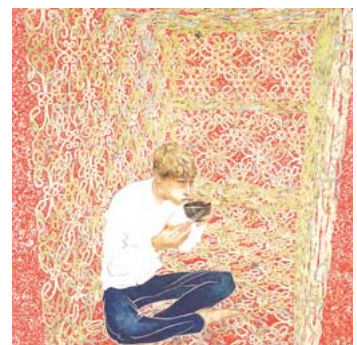
2月10日(水曜日) 大野 俊明氏(京都市立芸術大学特任教授)

2月12日(金曜日) 林 潤一氏(京都嵯峨芸術大学名誉教授)

2月15日(月曜日) 村田 茂樹氏(日本画家)



西久松 綾「みなも一時雨る」



松平莉奈「Missing Horizon(eat)」

琳派400年記念 新鋭選抜展—琳派FOREVER—

と き／1月30日(土)～2月14日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館 3F総合展示室
京都市中京区高倉三条上ル ☎075-222-0888

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家のみずみずしい作品を発信するものである。

「琳派400年記念祭」が華々しく開催された2015年の記念すべき一年に、様々な場面で琳派に触れた若手作家たちが、永年受け継がれて親しまれてきたその美意識に向き合い、挑んだ成果を発表する。100年後のアートシーンにもつながる新たな琳派として、現代を生きる新進若手作家が想像する作品の数々をご高覧いただきたい。

選考委員

大田垣 實 (美術評論家)
佐藤 敬二 (京都精華大学教授)
高階絵里加 (京都大学准教授)
平井 章一 (京都国立近代美術館主任研究院)
山梨 俊夫 (国立国際美術館長)

特別出品作家：山本太郎 (ニッポン画家)

作品群「日月の庵 (じつげつのいおり)」

伝統と現代、日本の古典絵画と現代の風俗が融合した作風により、現代の琳派と評される山本太郎 (1974～) の手になる、新作を含む様々な絵画作品が展示される。展示デザインは、辻村久信デザイン事務所が担当。京町家の間取りを再現し、ほのかにともる神秘的な灯りの中、通り庭に見立てた通路から鑑賞する。時代の空気を捉え、おかしさ、楽しさをまとい軽やかに表現された山本太郎氏による現代の琳派を、この機会にぜひご覧下さい。



ビアズリーと日本

と き／2月6日(土)～3月27日(日) 9:30AM～5:00PM
と ころ／滋賀県立近代美術館 (祝日以外の月曜と3/22休館)
大津市瀬田南大萱町1740-1 (JR瀬田よりバス) ☎077-543-2111

1890年代彗星のように画壇に登場し、イラスト界に旋風を巻き起こした夭折の天才画家オーブリー・ビアズリー (1872～98)。そのビアズリーのイラストで飾られたオスカー・ワイルドの戯曲『サロメ』英訳版が1894年に世に出るや、一躍19世紀末のイギリスに「ビアズリー時代」と呼ばれる熱狂を巻き起こした。ビアズリーの影響は欧米の美術の動向に熱いまなごしを注いでいた大正期の日本にも伝わり、多くの芸術家や文学者がビアズリーの虜になった。なかでも本を活躍の場とする版画家や挿絵画家、グラフィックデザイナーへの影響は絶大だった。一方、ビアズリー自身もヨーロッパを席卷したジャポニスムの洗礼を受け、初期の作品には日本美術、特に浮世絵にヒントを得た構図や描法を見ることができる。

本展は19世紀末から20世紀にかけて、ビアズリーを軸に展開した日英のアートの相愛関係を、およそ270点のイラスト、版画、装幀本で紹介する。わずかに6年に満たない歳月を駆け抜け、常に高い完成度の独創的な仕事を遺した奇才ビアズリー。現代イラストの原点とも言えるその傑作の数々と、妖しい魔力に満ちたビアズリーの白黒の世界から養分を吸い取り、独自の花を咲かせた日英のアーティストたちの個性あふれる作品がお楽しみ。



いかにトリストラム卿は愛の媚薬を飲んだか
サー・トマス・マロリー著『アーサー王の死』第1巻より



クライマックス
『ビアズリーによるオスカー・ワイルド著「サロメ」の挿画のためのドローイング集』より

会場		日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水	
企	画廊 きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																															
企	画廊 後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938		貸画廊受付中																															
企	画廊 彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468		展示休廊 (土日祝休業)																															
企	画廊 たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展																															
貸	画廊 ビーナス 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104		冬期休廊																															
貸	ざおんギャラリー-八坂 東山区祇園町南側 525-1717		完爾タペストリー展 井村勲								京都精華大学イラスト 学科1年有志展																							
貸	ギャラリー M 中京区蛸薬師高倉西 221-0979		節分と狂言展 (松本祐佳)								雪景と狂言展 (松本祐佳)																							
貸	ギャラリーカト 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F									シニアペインターズク ラブ展								龍谷大学美術部卒展															
貸	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	2F	山崎史展-スケッチ銅版画を中心に- (火曜休廊)																															
貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通堀手東入 551-3828		京都女子大学写真 部「初心展」								谷本陸雄 スタンドグラス展								クロッキー グループ展															
貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955																																	
貸	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堀町角 708-7898		創造する画家たち展 (洋画・染色) 荒瀬隆造・齋藤眞成・進藤博子・高井道夫 高谷道雄・田島健二・多納三勢・野村久之・和田龍郎								岩井博石展 (洋画)								常設展 (洋画)															
貸	ギャラリー K 中京区寺町二条下ル西側 255-7518		はな・花。HANA展 (木・金曜休廊)																															
貸	ギャラリー 恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F	贈りもの展								水田寛展 (平面) (15日休廊)								西出元展 (平面)															
貸	ギャラリー 佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	2F	山本一輝展 (平面)								鷹木朗・田中奈津子二人展 (平面) (15日休廊)								森下茅展 (平面)															
貸	ギャラリー 佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767		ご利用お申込受付中																															
会場		日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水	
企	ギャラリー三條祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																	
企	ギャラリー 思文閣 東山区古門前大和路東 761-0001																																	
企	ギャラリー 白川 東山安井東一筋目南 532-2616														コラボ作品展 (painting & Music) 片山雅史・池田明子メントモリ																			
貸	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154		工房風の調 作品展 (クラフト、絵画他) (8日休廊)								Faire~Grace~ (お花とピースアクセサリー)								福猫展ニャー (陶芸、絵画他)															
貸	ギャラリー 16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238		作品中!アゲイン (平面) (月曜休廊)								朝井章夫展 -Strange Fruit II - (立体) (月曜休廊)																							
企	ギャラリー 創 中京区河原町御池上ル 251-0522		常設展 鴨居玲・熊谷守一・伊藤若冲・白隠																															
貸	ギャラリー 象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738		常設展 (貸ギャラリー受付中)																															
貸	ギャラリー 高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390		貸画廊予約受付中																															
貸	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559		貸ギャラリー受付中																															
企	ギャラリー 鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164		常設展 (近代日本画の軸装・額装) 6、9、18、19、28、29休廊																															
貸	ギャラリー 知 (とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160		4人展 (羽賀美里・原田和 林明日佳・藤原悠)								町田藻映子個展 (月曜休) -何時か何処か今の此処-																							
企	ギャラリー なかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632																																	
貸	ギャラリー 中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253														奥田耕司展																			
企	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427		白崎信子作品 常設展																															
貸	ギャラリー ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	増田実 パステル画展								父・水上勉を歩く展 文・窪島誠一郎/写真・山本								山地咲希展 (油彩・ドローイング)								岩井晴香展-時の運行							
貸	中京区寺町三条上ル 231-3702	2F									角りわ子 (陶)								角りわこ展 (陶)								西村七兵衛陶展							

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。
【お詫びと訂正】本紙1月号表紙に掲載した福田美蘭「誰ヶ袖図」作品の制作年を1925年と誤記しました。正しくは2015年です。お詫びして訂正します。

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3/1	3/2								
				月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水								
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																								
	GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	志村ふくみ・洋子 作品常設展示																																								
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	公文瞳 (日本画)			善田康豊遺作展 -小品達からの伝言- (染色)			京都精華大学陶芸 コース進級制作展			李忠雨 金風造形展 (ジュエリー)																														
		4F	マロニエ企画展																																							
		5F				九美の会 (平面・立体)																																				
貸	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	色いろ勉強会 (織物)																																								
貸企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	冬休み																																								
企	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品 常設展示																																								
貸企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	常設展 (水曜休廊)																																								
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (藤平伸、小山智徳他) (日・水曜休廊)																																								
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	常設展																		西村一成 "Issei and the Devil Blues" (日月休廊)																						
貸																				ジェラル・サンドレイ "Visages - 顔々" (日月休廊)																						
貸企	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	絵画・工芸&中古道具 大処分市 (1、8、15、22、29休廊)																																								
貸	ギャラリーヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館 1F	京都外国語大学 写真部卒業展			大谷大学写真部卒業展			楽彩会展 (色えんびつ画)			同志社大学 美術部クラマ画会																														
		2F																																								
		1号館 1F	京都産業大学写真部 卒業展			amu design 11期写真展 「アイル」			立命館大学美術研究部 春季学外展			同志社大学 美術部クラマ画会																														
		2号館 2F																																								
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																								
企	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 334-2204	House of day, House of night 現代美術「FEATHER」工芸																		休廊									ガイド・ヴァン・デル・ウェルヴェ展「Killing time! 無為の境地」映像 (22、29休廊)													
企	京都芸術センター 中京区室町錦葉師下ル 213-1000	作家ドラフト2016 近藤愛助・BARBAR DARLING 展覧会																																								
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3/1	3/2								
				月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水								
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	京都における特別支援教育のあゆみ (水曜休廊)																																								
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	常設展示			常設展示			常設展示			森里龍生展 (木曜休廊)																														
		2F	青窯会作陶展 (11日休廊)						常設展示			常設展示																														
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	洛風のあかり展																																								
企	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	常設展 (不定休)																																								
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	休廊																																								
貸	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423																																									
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展 (日祝休廊) 蔵丘洞ノ棚コーナー			坂田源平 木彫展 (会期中無休) - 谷川俊太郎 詩とのコラボ -									常設展 (日祝休廊) 蔵丘洞ノ棚コーナー																												
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展 (コンセプトチャルリズムアート) (日祝休廊)																																								
企	梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展																																								
貸企	ポルタギャラリー華 下京区京町駅前地下街 365-7533	谷上裕二油彩画展									文齋教室作品展									ひねり会作品展																						
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和 名作発掘品展 (日・月休廊)																																								
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新・古書画常設展																																								
貸企	まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105	版画常設展																		ひなまつり版画展 (水曜休廊)																						
企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火曜・祝休廊)																																								
貸	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	貸ギャラリー受付中																																								

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>